

平成31年度 第1回 上市町地域公共交通活性化協議会 議事概要

1 開催日時

平成31年4月18日(木) 10時～11時25分

2 開催場所

上市町役場 4階 大ホール

3 出席者

小竹会長、酒井副会長、林委員、貫場委員、駒井委員、安達委員、小竹委員、石橋委員、大井委員、竹田委員、出村委員、猪井委員、坂井委員、水井委員(代理 有賀委員)、佐竹委員、山下委員、奥井委員、井藤委員、長谷川委員、開田委員、鈴木委員、中村委員、高慶委員、酒井委員(代理 深川委員)、廣田委員 計25名

事務局 中村企画課長、碓井主幹、成瀬係長、富樫主事

(福祉課 田中主幹、高原主事、教育委員会事務局 松井主任)

4 欠席者 なし

5 次第及び協議内容

1 開会

2 あいさつ(上市町 小竹副町長)

3 協議

(1) 上市町地域公共交通活性化協議会の設立について

～事務局 資料説明～

<質疑応答>

特になし

<採決>

全員挙手により賛成

これにより、上市町地域公共交通活性化協議会の規約は承認された。

会長 上市町副町長 小竹委員

<副会長の選任>

副会長 上市町区長協議会 会長 酒井委員(会長により指名)

(2) 人口概況及び公共交通の現況整理

(3) 町営バス再編実施検討調査の内容及び再編方針

～事務局より 一括して資料説明～

<資料に対する意見等>

(路線再編全体について)

・コンセプトの「交通弱者の足の確保」について、どこを見直すのかの見極めが非常に重要。デマンド運行についても、見極めが非常に大切である。

・運行側だけでなく、地域住民の興味を引き付け、何とかしようという住民を見つけることも大事なこと。

・計画づくりにおいては、硬直的で変更しにくい計画ではなく、数年後には見直しを行うなど柔軟性も考慮した計画づくりの考え方で取り組んでもらいたい。

- ・バスは大事で、高価なモノであることを住民に理解いただくことも大事なこと。  
(バスと鉄道との接続・連携について)
- ・バスと鉄道との接続・連携は非常に大切である。
- ・町内利用者の視点が大事だが、町外からくる方のことも検討してもらいたい。

(バスの運行時刻に関して)

- ・現在のバス運行時刻と利用者の利用したい時間帯がミスマッチを起こしている可能性がある。
- ・小中学生の下校の時間帯とバス運行時刻について、児童・生徒の安全性の確保の観点から下校時間との円滑な連携ができるよう検討してもらいたい。

(利便性の向上に関して)

- ・集落から離れた場所にある停留所の解消を検討してもらいたい。
- ・屋根やベンチ、待合所についても利便性の向上においては重要な要素。待合所内に時刻表を貼付するなど、お金のかからない利便性が向上する手法もある。
- ・定期券や料金の引き下げなどもニーズがある。

(自由乗降に関して)

- ・高齢者の自動車運転による事故減少のためにも、自由乗降により利便性が向上し、バス利用者が増加する方向になればよいと考えている。
- ・利用者側が道路上での安全を意識してもらうことも重要であり、周知をしっかりとやってもらいたい。
- ・自由乗降をいきなり始めるのではなく、「フリー降車」から始める方法もいいのではないか。
- ・自由乗降ではなく、停留所をより多く設置する方法も検討できるのではないか。

#### 4 今後の予定

～事務局より資料説明～

#### 5 その他

北陸信越運輸局富山運輸支局

長谷川 首席運輸企画専門官より以下資料の説明があった。

『活発でよい議論ができる会議のために』

#### 6 閉会